

ヒノキ精油の吸入による嚥下機能改善効果に関する研究

1. 課題名 ヒノキ精油の吸入による嚥下機能改善効果に関する研究		
2. 研究者等氏名	所属	職名
李 卿	三郷ケアセンター、日本医科大学	医師、臨床教授
落合 匠	三郷ケアセンター	医師、施設長
青柳陽一郎	日本医科大学大学院医学研究科	医師、教授
3. 研究協力者等氏名	所属	職名
古谷 亮	三郷ケアセンター	ST
川上 麻咲	三郷ケアセンター	ST
竹之内雅子	三郷ケアセンター	ST
4. 研究等の概要		
<p>申請者の先行研究では森林環境の嗅覚成分の吸入はストレスホルモン減少及びリラックス効果をもたらすことが明らかになった。以上の研究結果から我々は森林環境の嗅覚成分の吸入による嚥下反射機能への影響に着目した。以前から黒胡椒精油刺激による嚥下機能改善が報告されているが、ヒノキ精油刺激による嚥下機能への影響に関する研究は見当たらない。黒胡椒精油刺激による嚥下機能改善は単純に黒胡椒精油の強い刺激作用によって嚥下反射を惹起するが、ヒノキ精油は香りによる刺激作用とリラックス作用の両方を持ち合わせて嚥下反射機能に影響を及ぼすと考えられる。</p> <p>そこで、本研究は三郷ケアセンターの入所者に対してヒノキ精油の吸入刺激による嚥下機能改善効果を検討することにする。</p> <p>研究方法</p> <p>ヒノキ精油を脱脂綿に 6 滴垂らして ST 担当者が嚥下訓練時に 1 分間の嗅覚刺激を 1～2 か月の間に行い、嗅覚刺激介入の前後で嚥下反射及び食事における嚥下改善効果を検証する。</p> <p>【評価方法】</p> <p>介護現場で手間がかからず、簡便な評価法が現実的で望ましいと思われる。そこで、以下の評価法を用いる。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① RSST 評価法 ② FT (フードテスト) ③ 咳の誘発状況 ④ 食事における嚥下行動変容の評価 		

研究の期間（予定）

研究予定期間：2021年 6月～2023年 6月（2年間）

5. 研究等の対象及び実施場所

嚥下機能低下の入所者から担当 ST によって 20～30 名を選別して順次に実験に参加してもらう。

実施場所：三郷ケアセンター

必要に応じて日本医科大学付属病院の入院患者を対象者として急性期リハビリテーションの視点からヒノキ精油刺激による嚥下機能への影響を検討する。

6. 研究等における医学倫理的配置について

(1) 研究等の対象とする個人の人権の擁護

本研究では、全ての被験者から文書でインフォームド・コンセントの手続きを取る。実験結果は、他の目的に使わない。対象者の人権及び個人情報の保護に最善を尽くす。

(2) 被験者に理解を求め同意を得る方法

インフォームド・コンセント（IC）を受ける手続き

全ての被験者から文書でインフォームド・コンセントの手続きを取り、被験者の同意を取得する。被験者は任意で参加できる。

代諾者等から IC を受ける場合には、その手続き

本研究では、全ての被験者から文書でインフォームド・コンセントの手続きを取る予定であるが、認知症のために被験者本人から取れない場合、代諾者として家族に文書でインフォームド・コンセントの手続きを取り、被験者の家族の同意を取得する。

本研究への参加は、自由意思によることで、参加への同意撤回も自由意思で決められる。

(3) 研究等によって生ずる個人への不利益と利益または貢献度の予測

この方法では精油の吸入量は極めて少なく被験者には安全な量でリラックス効果があっても副作用はない。研究による個人への不利益並びに危険性は一切生じない。

リハビリテーションの一環としてヒノキ精油吸入による嚥下機能改善効果が期待され、入所者の生活機能向上及び嚥下機能向上も期待できる。

(4) その他

個人情報の取り扱い

本研究では、実験結果は、他の目的に使わない。対象者の人権及び個人情報の保護に最善を尽くす。また結果は被験者にフィードバックする。同意撤回後のデータについては使用しない。

研究機関の長への報告内容及び方法

毎年年度末に三郷ケアセンター施設長に研究概要を報告する。中止・終了際は研究中止・終了報告を提出する。

当科(部)での本研究の実施について承認していること、実施に際して必要な措置を講ずることを証します。

年 月 日 部署責任者: 坂口 誠太郎 印